

理研知融合領域リーダー育成プログラム

Young Chief Investigator 募集

平成 24 年 1 月 16 日

免疫・アレルギー科学総合研究センター

1. 目的

免疫と他分野との融合・戦略研究を推進する優秀な若手研究者を抜擢し、独立した研究を進められる若手リーダーを育成するキャリアパス制度である。プロジェクトが関係する複数の領域の専門家(理化学研究所の全ての研究所・センター*に所属する PI)が、メンターとして指導にあたる。将来は、所定の評価を経てチームリーダーあるいはグループディレクター等として採用され新領域を立ち上げることを目指す。

* 脳科学総合研究センター、発生・再生科学総合研究センター、植物科学研究センター、ゲノム医科学研究センター、生命分子システム基盤研究領域、オミックス基盤研究領域、生命情報基盤研究部門、新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター、基幹研究所、分子イメージング科学研究センター、バイオリソースセンター、放射光科学総合研究センター(SPring-8、XFEL)、仁科加速器研究センター、社会知創成事業(創薬・医療技術基盤プログラム、バイオマス工学研究プログラム、次世代計算科学研究開発プログラム)、計算科学研究機構、生命システム研究センター等。詳細は理研ホームページ <http://www.riken.jp/r-world/research/lab/index.html> を参照。

2011 年 RCAI は免疫系ヒト化マウスを用いて統合免疫学を推進する新しいコンソーシアム Medical Immunology World Initiative (MIWI) を世界 7 つの研究所 (IFReC, NIH, IMSUT, two departments in Zurich University, INSERM/Necker Hospital and Pasteur Institute) と共同で開始しました。MIWI の計画の一つに、統合免疫学を推進できる若手研究者育成が挙げられており、MIWI に参加する外部研究者等も必要に応じて YCI のメンターとして連携します。

2. 研究体制

完全に独立した研究室形式を取らず、RCAI 内のグループまたはチームに研究スペースと設備等を依存する。予算、研究面では独立して研究を推進する。規程上の職制は「上級研究員」とする。関係する領域の理研内の専門家(PI) 約 3 名がメンターとなり、研究指導、論文作成、発表支援、研究費獲得などの指導にあたる。(図参照)

3. 進捗評価

- 1) プログラム支援委員会(原則半年毎に開催)に出席し、報告を行う。
- 2) 国際アドバイザー・カウンシル (RCAI AC)(1-2 年に一回)による助言等を受ける。
- 3) 5 年目、センター長・副センター長によるレビューおよび RCAI AC による助言等を受け、

それらの結果を踏まえ、2年間延長あるいはチーム・リーダー(TL)やグループディレクター(GD)への応募を奨励する。

4. メンターの役割

- 1) 当該研究者の研究支援を行う。
- 2) 研究テーマに関連した実験指導、論文作成、発表支援、研究費獲得等指導を行なう。
- 3) プログラム支援委員会に出席し、意見を述べる。
- 4) 研究の進捗をセンター長へ報告(1年に一度)する。

5. プログラム支援委員会の役割

- 1) 研究推進に必要な事項(追加予算など)に関して、センターとしての支援を検討する。
- 2) 研究テーマをセンターの中核プロジェクトとして実施するための必要事項を整備・検討する。

6. 対象と応募

公募。採用は、原則 40 歳(暫定)まで、あるいは博士学位取得後 10 年以内の常勤可能な研究者。大学院生も応募可能(但し、非常勤職員として勤務可能な者)。免疫と他分野との融合・戦略研究を対象とする。

7. 契約期間と経費

複数年度契約。7年間(平成30年3月31日まで)は保証。5年目にチームリーダーあるいはグループディレクター採用の評価を行う。但し、国勢等における諸般の事情により変更することがある。採用された場合、年間 1,500 万円(自身の給与を含む人件費込)を限度に予算を配分する。但し、研究計画・進捗に応じて研究遂行に必要な経費をセンターで別途措置する。

8. 選考と決定

公募し、横浜研究所内に設置された選考委員会によって選考し、理事長が任命する。

9. 応募方法

以下の応募書類を英語で作成し、下記宛に提出。

〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-7-22

独立行政法人 理化学研究所 横浜研究所研究推進部 人事担当 阿部

1) 研究計画書

A4 シングルスぺース 10 ページ以内。研究計画書には、課題名、背景、プロジェクト内容、

および研究者のこれまでの研究との関連を記載すること。

2) 年次計画

最初の2年間の研究計画、到達目標、雇用計画、必要な予算の詳細を年ごとに記載する(A4 シングルスペース 4 ページ以内)。また、3, 4, 5 年次の到達目標を記載する。外部資金を獲得している場合は、その使途も記載すること。

3) ホストラボ

希望があれば記載。ホストラボとメンターのマッチングについてはセンターにて調整する。

4) メンター

希望する領域を記載。特定の PI をメンターとして希望する場合はその氏名を記載。

5) 研究計画の実行能力を判定できる事項の記載

6) CV(英語)および推薦書2通(谷口 克 センター長宛 日本語も可)

7) 〆切(予定)

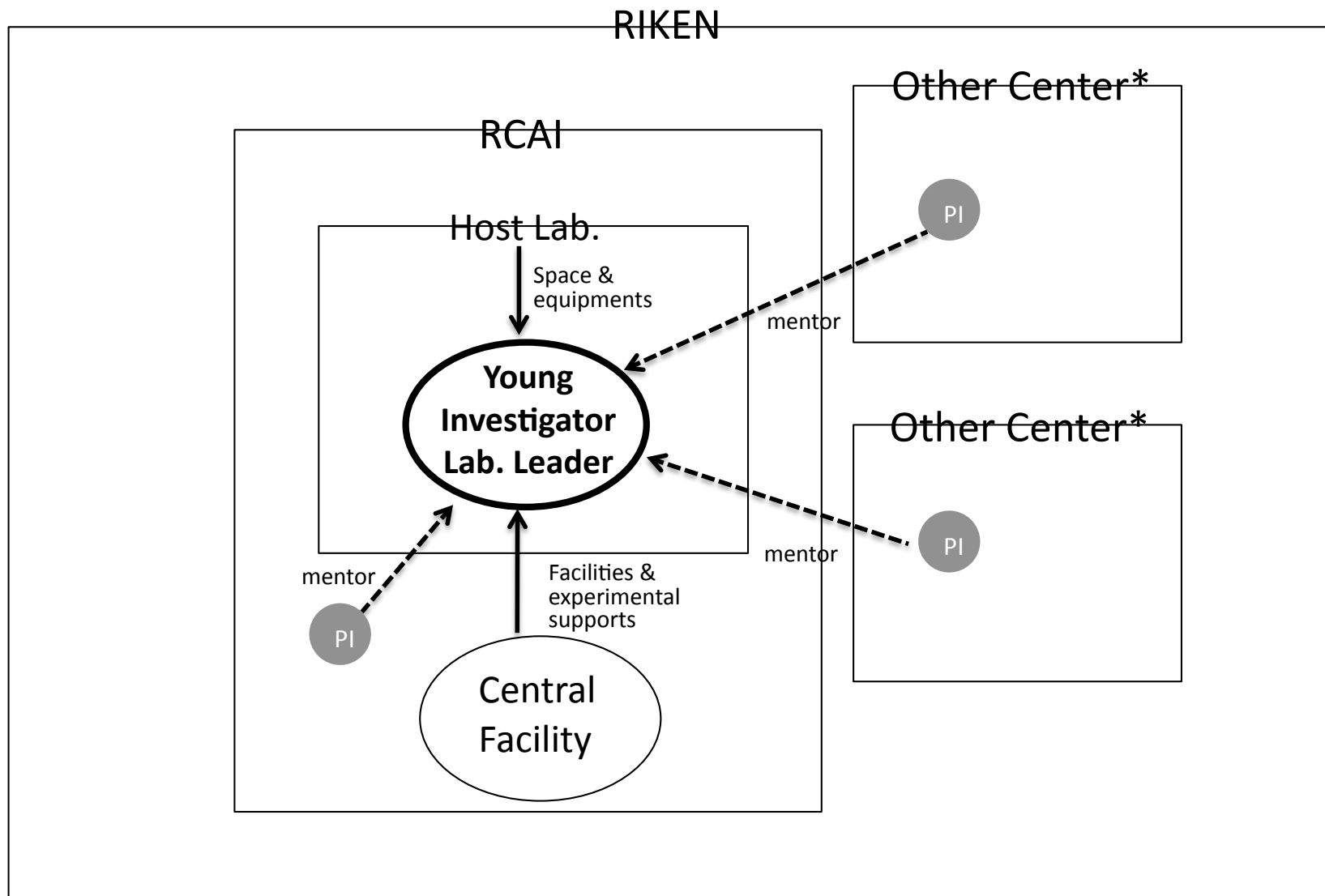
2012年3月31日

8) 問い合わせ

RCAI リサーチコーディネーター (岩野 e-mail: haruka@rcai.riken.jp)

すでに研究を実施している YCI については、RCAI のホームページを参照してください。

<http://www.rcai.riken.go.jp/group/index.html>



* Other Centers : all the research centers in RIKEN including PSC, CGM, SSBC, OSC, BASE, CRNID, ASI, BSI, CDB, CMIS, BRC, SPring-8, XFEL, Nishina Center, Senadi Facility, Nagoya Facility, Quantitative Biology Center, etc.